

2017-B

VI23B

拠出金・基金
の名称

平和のためのパートナーシップ(PfP)信託基金

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】北大西洋条約機構(NATO)

【所管官庁担当局課・室名】外務省欧州局政策課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

- 1 PfP(平和のためのパートナーシップ)は、民主化途上にある非NATO加盟国(主に欧州・中央アジアの旧共産主義国、アフガニスタン、中東)の民主化・安定化を支援する協力の枠組み。
- 2 PfP信託基金は、PfP対象国における老朽化余剰兵器(武器、地雷、不発弾等)の安全な管理・処理、元軍人の社会復帰支援、軍事基地の民生利用促進や軍内のジェンダー主流化といった防衛改革支援等を目的として2000年(平成12年)に設置。加盟国のほか、非加盟国も拠出。我が国は、2008年(平成20年)より拠出。
- 3 平成29年度は、ヨルダンにおける女性軍人育成支援プロジェクト(ヨルダンⅢ)に拠出。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	6,496	53		1ユーロ=122円	0
平成28年度	6,496	47		1ユーロ=137円	0
平成27年度	23,278	166		1ユーロ=140円	0

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

- 1 NATOとの連携は、共に米国との同盟関係を有する日欧間の安全保障面における協力を強化し、基本的価値を共有する日米欧間の同盟ネットワークを強化するとともに、国際社会全体の秩序の維持や平和と安定に資するもの。
- 2 NATOは信託基金の枠組みを利用して、紛争予防、地域の安定化及び平和構築の観点から、ヨルダン女性兵士の数の増加及び能力の強化により、ヨルダン国軍全体を強化し同国におけるテロ対策に資する事業を実施。
- 3 我が国は、中央アジア・コーカサス地域における平和構築事業に高い実績及び経験を有するNATO及び関係諸国と緊密に連携することにより、我が国単独では支援困難な分野において貢献を行い、世界の平和と安定への寄与を示すことが可能。
- 4 日本の拠出は、NATOが実施する事業のうち拠出先を主体的に選びながらイヤマークして行っており、日本の意図を反映したプロジェクト運用がなされている。

【備考】